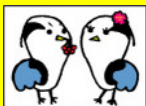


～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成28年10月11日 (N0.82)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

## 厚真町から視察団

■9月20日(火)、厚真町教育委員会から兵頭俊彦教育長をはじめ学校運営協議会準備委員会 12名の皆さん方が来町され、CS導入のプロセス、活動の概容、成果と課題などについて交流していかれました。

■主な協議事項は次の通りです。

①小中一貫CSの推進組織を教職員中心と地域・保護者中心の組織に分け、それぞれの特性を生かすよう配慮して機能している。また、小中一貫推進協議会の3部会(学習指導部会、生徒指導部会、うらスタ部会)のしくみを校務分掌と一致させている学校があり、より機能的で教職員の負担軽減にもなっている。



厚真町の方々と交流

②教職員の任用に関して意見を言うことができると規定してあるが、不都合な事例はなく、むしろ、CSを推進する上で役立っている。

③学園の教育目標や望ましい子供像については、熟議を通して9年間を見通した共通のものを策定している。こうした取組は各学園のアクションプランに反映され、「スマホやゲーム機の使用のルールづくり」という喫緊の課題については、児童生徒、教職員、保護者、地域の方々による熟議が行われ、当事者意識を重視した取組が行われている。

また、教育研究所と連携した取組は、CS推進の大きな力になっている。

④教職員や地域の人たちと協働して小中一貫CSを推進している。学校運営協議会の位置付けとして、学校運営の権限と責任は校長が有すること、学校運営協議会が学校運営について意見を述べるにあたっては、一定の責任を生ずること等を確認しながら進めている。

⑤少年団活動や部活動と小中一貫CSとのかかわり、PTA組織とCS組織の関連、教職員の多忙感の解消などについてより望ましい方向性を見出ししていく。

## 浦幌学園「うらモンGO！」



○浦幌学園CS委員会主催の「うらモンGO！」が元木農場で盛大に行われ、食欲の秋を満喫。

## 今後のCSの予定

- 10月13日(木)、CS先進地の占冠村立占冠小学校を視察します。視察者は、久門教育長、野上校長、池田校長、高田教諭、福留教諭、橋本委員、岸田委員、北村委員、佐藤次長補佐です。
- 10月21日(金)、文部科学省主催「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」が札幌市で行われ、久門教育長、松橋校長、川田教頭、佐藤次長補佐が出席します。